

入札執行

入札時間は厳守すべきでは

会場敷地内での待機は遅刻としない

本庁副町長



もり はるし 議員

問 黒潮町の入札については町の契約規則で「入札執行の場所及び日時について周知するもの」となっている。10月に福祉センターで行なわれた情報通信基盤整備事業平成21年度伝送路整備（予定価格2億5600万円）の請負指名入札が行われた。その時、入札の時間になっても指名業者が2階の会場に居ないといって、職員が1階や駐車場を探していた。後日入札の結果を見ると、その探していた某株式会社・高知支店が落札して

いた。高知市の業者に聞くと、高知市では入札時間に遅れる事は即失格になると言っていた。高額な入札がこういう形で行なわれるという事について、執行部はなめられているし、議会も住民も何か無視されていると感じる。今後入札に遅刻があった場合には即失格とするのかどうか。また、請負対象金額に対して毎回90〜97%と高い落札率が続いているが、徳島県の業者の話では「普通は80〜85%の入札が多く、90〜97%になると話し合いで談合の懸念がある」と言われた。入札の予定価格は当日町長がその場で開封し、その中には最低価格も示されていると思うが、住民にすれば、予定価格の目一杯でなく最低価格に近い入札で、余った分は他の事に使ってもらいたいという気持ちが強いと思う。町には入札契約

制度改善検討委員会が設置されているが、90〜97%の入札率について審議されているのか。

答

澳本本庁副町長

町の契約規則により、指名業者には福祉センター2階研修室と場所を指定しており、会場付近（2階ホールや1階ロビー）で待機し、入札執行に支障がない場合は遅刻と判断していない。

入札金額は業者が設計書を適正に積算し、採算性を考慮し入札しており、落札率が高い、低いについての適正な判断基準がなく安易な答えはできない。

公共交通

バスのアンケート

回収率21・7%

本庁総務課長

問

10月頃地域公共交通バスのアンケートが各家に届いた。このアンケートの件で住民より「一人暮らしの家庭に必要な中学生以上の用紙が5枚も入ってきた。これは紙も税金も無駄遣いだ」と強いお叱りを受けた。このアンケートの世帯主用、中学生以上用の印刷枚数、金額、郵便局への料金後払いの金額、コンサルタントへの委託金額と回収率について尋ねる。

また氏名を書いて出したら「抽選で100人に500円の図書券が当たる」と、実名を書くように誘導したり、封書の隅には小さな字で地名が特定できるような数字を入れたりしたのはなぜか。

答

植田本庁総務課長

世帯主用は1万7400枚で20万4000円（封筒5100枚含）、中学生以上用は5

万8000枚で35万3000円、実際に支払った郵便代金は14万3000円、町の支払い額は55万円で、コンサルタント会社との委託契約総額877万円は全額国の補助金。回収率は世帯主22・5%、中学生以上21%、合計では21・7%になる。

図書券の景品（業者負担）を付けたのは、調査の回収率を高めていくためにやった。

